



公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

承認番号：NN-4-9

ぎふスポーツフェア 2022

可児市長杯争奪 第1回岐阜親善交流大会

可児市政 40 周年記念大会



期 間：令和4年5月7日（土）・8日（日）・14日（土）
予備日15日（日）

●使用球場

- KYBスタジアム
- 南山公園野球場
- 国府グラウンド
- 大野レインボースタジアム
- 清流国体記念運動公園 大野台パーク
- 長良川球場
- 多治見市営球場
- 岐阜ファミリーパーク野球場
- 苗木公園野球場
- 輪之内アポロンスタジアム

●後 援

- 岐阜県
- 可児市・同教育委員会
- 岐阜市
- 多治見市教育委員会
- 御嵩町教育委員会
- 中日新聞社

●主 催

（公財）日本少年野球連盟 岐阜県支部

●協 賛

- ミズノ株式会社
- ゼット株式会社
- 株式会社 P&P浜松
- スポーツプラザ ヒビノ
- 株式会社 竹中スポーツ



公益財団法人

日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE

野球をしながら
団結・友愛・規律・勇気・忍耐
を身につけよう

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の練磨とスポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んずる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田 敏和

〔本部〕 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号

南海日本橋ビル2F

TEL 大阪 (06) 6649-0061

ご あ い さ つ



可児市長 富田 成輝

可児市長杯争奪第1回岐阜親善交流大会が、当市のKYBスタジアムなどを会場として盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

出場される選手の皆さんには、コロナ禍で普段の練習においても何かと制限を受ける場面が多いことと思いますが、本大会では思う存分グラウンドを駆け回り、日頃の練習の成果を十分に発揮されることを期待しています。また、こうした状況下でも、選手の皆さんが野球に取り組むことができるのは、監督やコーチ、家族の皆様をはじめ多くの方々の支えがあることを決して忘れないように、感謝の気持ちをもってプレーしてくれることを願っています。

最後に、当市の市制施行40周年に当たる今年は、10年後の50周年に向けて更なる成長を目指すスタートの年にしたいと考えております。本大会も皆様の心に刻まれる素晴らしい大会となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

(公財) 日本少年野球連盟
岐阜県支部長 澤田 和 尚

「可児市長杯争奪 第1回岐阜親善交流大会」を開催するにあたり、可児市長の富田成輝様始め、関係各所の皆様から温かいご後援、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また、日頃より(公財)日本少年野球連盟ボーイズリーグの活動に対しましてご理解とご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

現在、ボーイズリーグ岐阜県支部在籍チーム数は20と中日本ブロック最大を誇っております。しかしながら、少子化や学校部活動の制限や野球離れ等、課題は多くございます。さらなる発展を目指し、充実した活動が展開できるよう努めてまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、大会の中止や延期、また各チームの活動も縮小せざるを得ない状況となり、本大会もその余波を受け昨年中止となってしまいました。その様な状況下でも選手、保護者、スタッフが三位一体となり感染防止対策を徹底し知恵を出し合い『今、出来る事を最大限に』野球環境の維持継続が出来るよう懸命に行って参りました。新型コロナウイルス禍の終息には未だ程遠い状況ですが、全ての関係者の健康と安全を第一に、出来る限りの活動をしていきたいと考えます。

選手の皆さん、『信じる力』を大切にし、日々支えて下さる保護者の方々にはもちろん、野球を通して『生きる力』をご指導いただいている関係者があなたの側で見守ってしてくれる事を忘れずに、一人一人が『役割』をもち『本気』で取組んで下さい。

例え失敗や間違いがあっても、本気の取組みは必ずや自身の糧となり、財産となります。

最後になりましたが、本大会の運営にご協力くださいます関係者各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、大会出場の皆様方のご健勝とご健闘をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

大会役員

大会会長	可児市長 富田成輝	大会顧問	(公財)日本少年野球連盟
大会委員長	澤田和尚	名誉会長	藤田英輝
大会運営委員長	足立修身	会長	惣田敏和
大会事務局長	大暮和幸	副会長	工藤眞一
大会副事務局長	高木勇人	副会長	堀内健
大会会計	二村尚彦	専務理事	大富肇
大会総務	武藤善彦	常務理事	橘高浩二
〃	大浦正彦	常務理事	岡陽一
〃	渡辺祐二		
大会広報	川島浩	大会相談役	中日本ブロック長 松本行弘
大会運営委員	大橋和博	理事	伊藤裕章
〃	河村代之	理事	脇田勝
〃	青木幹樹	理事待遇	榊原隆宏
〃	石川孝信	理事待遇	杉浦真一
〃	植地一喜		
〃	大野秀一	大会参与	北陸支部長 山西祥夫
〃	岡本和男		愛知県東支部長 野澤孝禎
〃	奥田浩二		愛知県中央支部長 田畑良一
〃	小澤淳二		愛知県西支部長 渡会武則
〃	葛西勉		三重県支部長 藤本善一
〃	国枝義孝		滋賀県支部長 谷昌彦
〃	杉山淳		京都府支部長 西康次
〃	田中秀治		
〃	津田明春		
〃	南晃一		
〃	宮部博幸		
〃	若狭洋玄		
大会審判長	吉村新悟		
大会副審判長	成瀬正敏		
〃	武藤信一		
〃	児玉修司		
大会審判員	岐阜県支部審判員		

可児市長杯争奪第1回岐阜親善交流大会規定

- 1 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。但し、ベンチ入りは20名以内。
- 2 出場選手は本大会登録締切日現在において連盟へ登録済みの者に限る。
- 3 審査証は当年度発行のものに限る。
- 4 オーダー表記入選手25名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- 6 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表5部と投手投球数記録(副)を本部に提出しなければならない。
- 8 オーダー表交換時に監督、審判員立会いのもと両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10 試合方法など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回終了時(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は、4回表終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11 (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
 - (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
 - (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
 - (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
 - (5) ボークは投球数としない。
 - (6) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。
 - (7) ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
- 12 (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の合計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2) 守備の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの運用についての確認は認める。
- 15 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17 ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

- 18 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19 各チームが同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。
- 20 ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 21 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 22 グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 23 ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 24 光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 25 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 26 令和4年3月6日連盟発出 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守すること。

参 考

野球規則7. 01(4)

7. 02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が終わらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

【タイブレーク実施細則】

(1) 特別規則

- (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チーム及び個人記録

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点としない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

野球用品は、すべて連盟指定業者のものを使用することが義務付けられています。

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

1, レギュラーの試合での登板は下記のとおり制限する。(3年生以下)

- (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
- (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
- (7) 申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする

2, ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。

また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

3, 練習中の投球数は1日70球以内、週350球以内とする。

また、週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事。

	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	備考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。(打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板していき連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※捕手可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場きる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	0 40	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は次の日は投手・捕手として出場できない。1日目、2日目、5日目の第2試合においては、「打者途中で制限数を迎えた場合のみ」打者終了まで投げて球数(40以上)はカウントしない。
投手H	40 40	40 休	休	40 0	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。 1日目の1試合目、4日目の1試合目、5日目の1試合目は1日の投球数の上限数に達していないため、「打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。」は適用しない。

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（各球場）

1 球場到着時

- (1) 試合開始1時間前に球場に到着すること。早く到着しないこと。
- (2) 本部への挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える。
チーム責任者は登録役員・選手名簿、審査証、オーダー表、新型コロナウイルス感染症当日参加名簿を本部に提出する。
チーム責任者は球場運営責任者の指示に従い対応する。(各会場により自治体から指導されている内容が異なるため)
- (3) 本部よりチーム責任者に消毒液等の設置場所を伝える。
- (4) 球場に到着後も必ずマスクを着用し密になることを避ける。(チーム責任者/指導者が管理する)

2 球場入場時

- (1) 役員、選手全員に検温、消毒を実施する。保護者も同様とする。(球場運営担当立ち合いのもと実施)
検温チェック後、球場運営担当者は選手、指導者、審判員以外にリストバンドを付ける。リストバンドは球場から退場するまで外さない。
- (2) 原則試合終了後に前試合の選手全員が退場しましたら、選手通路から間隔を空けて球場に入る。
道具についてはベンチ横に置いて試合開始準備を行う。
- (3) 役員、指導者、選手はベンチ入り後もマスクを着用し、密にならないようにする。
- (4) ベンチに入った時に一度、ソーシャルディスタンスの確認をする。(チーム責任者/指導者が確認する)
- (5) 各球場責任者は、1試合目のチームがベンチ入りするまでに消毒を済ませておく。
第2試合目以降のチームについては、前試合の選手全員が退場するまでベンチに入らない。
- (6) 審査は事前に預かった登録役員・選手名簿、審査証、オーダー表を照合し、チーム責任者立ち合いのもと道具審査を行う。

3 試合開始、試合中

- (1) 試合中、ベンチ内、ランナーコーチ、ボールボーイは必ずマスクを着用し、間隔を開けること。
(チーム責任者/指導者が必ず確認をする)
- (2) シートロックの際ノッカーは、マスクを着用すること。
- (3) 試合開始、終了の挨拶はホームベース付近に間隔を空けて整列し声を出さずに礼をもって挨拶とする。
- (4) バット、ヘルメットは、毎回使用後に消毒を行う。
- (5) 捕手の防具は基本的に自ら装着する。時間短縮のため補助者を認めるが装着後、補助者は必ず手指の消毒をすること。
- (6) メガホンの使用や大声での指導、ハイタッチは禁止とする。
- (7) 飲み物は一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止とする。

4 試合終了後

- (1) 試合終了後は速やかにベンチを空け、球場運営委員が立ち合いのもと各チームで責任を持って消毒を行う。(その際に保護者の協力については可とする)
- (2) 試合終了後は密を避けるために、本部への挨拶は行わず、速やかに球場から解散する。
(ミーティング等は行わない)

5 球場スタンド・応援

- (1) 各会場の観戦ルールに従い、スタンドにおいても、ソーシャルディスタンスを確認すること。
- (2) ソーシャルディスタンス確保のため、スタンドでの応援の際はテント、タープ等の設置は厳禁とする。
- (3) 応援は控え選手、保護者共に大声を出さずに静観する。拍手等工夫を行う。
- (4) 試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃、消毒を行い、速やかに球場から移動を行う。
用具、消毒液等は各チームで用意する。

6 大会期間中、大会終了後

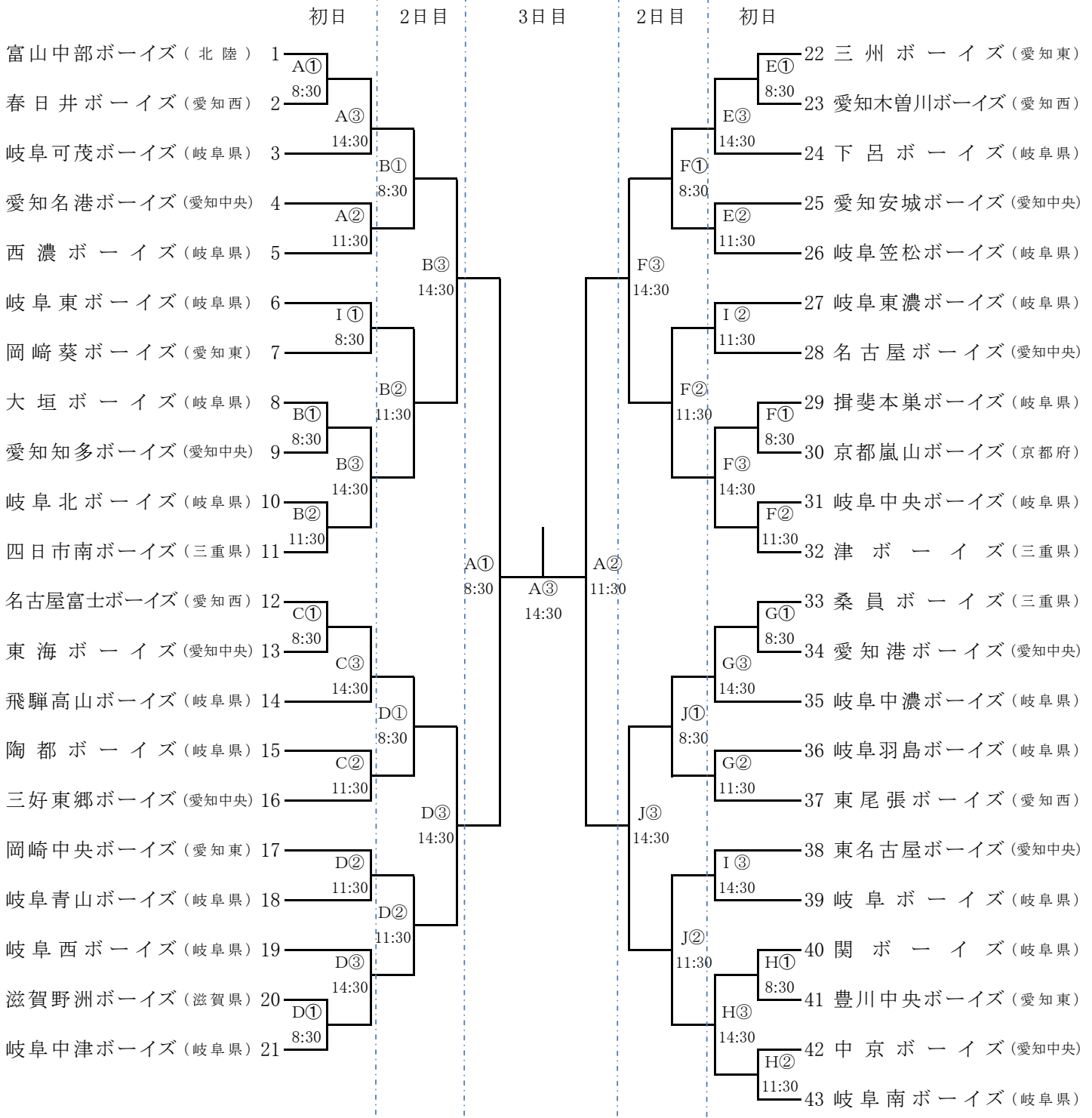
- (1) 大会期間中もしくは大会終了後2週間以内に、選手またはチーム関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者が主催者に対して速やかに報告すること。

本大会を開催するにあたり、コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し、選手ならびにチーム関係者を感染から守り、大会に参加し野球ができることに感謝し、円滑な大会運営にご理解、ご協力をお願いいたします。

可児市長杯争奪 第1回岐阜親善交流大会組合せ

1. 日程 令和4年5月7日(土)～5月14日(土) 予備日 5月15日(日)

2. 場所 A: KYBスタジアム B: 南山公園野球場 C: 国府グラウンド
 D: 大野レインボースタジアム E: 清流国体記念運動公園 大野台パーク F: 長良川球場
 G: 多治見市営球場 H: 岐阜ファミリーパーク野球場 I: 苗木公園野球場
 J: 輪之内アポロンスタジアム



試合開始時間

初日 7日(土)	A KYBスタジアム	B 南山公園野球場	C 国府グラウンド	D 大野レインボースタジアム
第1試合	8 : 30	8 : 30	8 : 30	8 : 30
第2試合	11 : 30	11 : 30	11 : 30	11 : 30
第3試合	14 : 30	14 : 30	14 : 30	14 : 30

初日 7日(土)	E 清流国体記念運動公園 大野台パーク	F 長良川球場	G 多治見市営球場	H 岐阜ファミリーパーク野球場
第1試合	8 : 30	8 : 30	8 : 30	8 : 30
第2試合	11 : 30	11 : 30	11 : 30	11 : 30
第3試合	14 : 30	14 : 30	14 : 30	14 : 30

初日 7日(土)	I 苗木公園野球場
第1試合	8 : 30
第2試合	11 : 30
第3試合	14 : 30

二日目 8日(日)	B 南山公園野球場	D 大野レインボースタジアム	F 長良川球場	J 輪之内アポロスタジアム
第1試合	8 : 30	8 : 30	8 : 30	8 : 30
第2試合	11 : 30	11 : 30	11 : 30	11 : 30
第3試合	14 : 30	14 : 30	14 : 30	14 : 30

三日目 14日(土)	A KYBスタジアム
第1試合	8 : 30
第2試合	11 : 30
第3試合	14 : 30

各球場 所在地

- A KYBスタジアム（可児市運動公園野球場）
岐阜県可児市坂戸987-4
- B 南山公園野球場
岐阜県可児郡御嵩町御嵩2192-127
- C 国府グラウンド
岐阜県高山市国府町宇津江537
- D 大野町運動公園レインボースタジアム
岐阜県揖斐郡大野町野860
- E 清流国体記念運動公園 大野台パーク
岐阜県加茂郡白川町河岐1480
- F 長良川球場
岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28
- G 多治見市営球場
岐阜県多治見市美坂町4丁目1
- H 岐阜ファミリーパーク野球場
岐阜県岐阜市北野北997
- I 苗木公園野球場
岐阜県中津川市苗木4588-52
- J 輪之内アポロスタジアム
岐阜県安八郡輪之内町中郷新田1470

歴代優勝・準優勝チーム

優 勝

準 優 勝

ボーイズリーグ親善交流大会

第1回	1997	岐阜クラブ	
第2回	1998	京都田辺硬式野球部	名古屋フレンズ 両チーム優勝
第3回	1999	オーミボーイズ	
第4回	2000	南山城ドラゴンズ	岐阜ビクトリーズ 両チーム優勝
第5回	2001	オーミボーイズ	
第6回	2002	鯖江ボーイズ	
第7回	2003	岐阜クラブ	
第8回	2004	京都ライオンズ	
第9回	2005	雨天のため中止	
第10回	2006	名古屋フレンズ	
第11回	2007	岐阜ビクトリーズ	
第12回	2008	岐阜レッズボーイズ	
第13回	2009	鯖江ボーイズ	岐阜クラブ 両チーム優勝
第14回	2010	鯖江ボーイズ	
第15回	2011	岐阜レッズボーイズ	
第16回	2012	南京都NSボーイズ	
第17回	2013	津ボーイズ	
第18回	2014	桑員ボーイズ	
第19回	2015	東海ボーイズ	
第20回	2016	桑員ボーイズ	
第21回	2017	京都嵐山ボーイズ	
第22回	2018	岐阜中濃ボーイズ	
第23回	2019	京田辺ボーイズ	
第24回	2020	コロナ禍のため中止	
第25回	2021	コロナ禍のため中止	

可児市長杯争奪岐阜可茂大会

第1回	2006	横浜瀬谷ボーイズ	可茂ボーイズ
第2回	2008	揖斐本巣パワーボーイズ	岐阜東ボーイズ
第3回	2009	可茂ボーイズ	揖斐本巣パワーボーイズ
第4回	2010	下呂ボーイズ	可茂ボーイズ
第5回	2011	可茂ボーイズ	愛知江南ボーイズ
第6回	2012	岐阜東ボーイズ	羽島ウインズボーイズ
第7回	2013	可茂ボーイズ	岐阜東ボーイズ
第8回	2014	岐阜東ボーイズ	富山中央ボーイズ
第9回	2015	岐阜東ボーイズ	岐阜中津ボーイズ
第10回	2016	岐阜東ボーイズ	岐阜可茂ボーイズ
第11回	2017	岐阜東ボーイズ	飯田ボーイズ
第12回	2018	愛知小牧ボーイズ	飛騨高山ボーイズ
第13回	2019	三州ボーイズ	愛知小牧ボーイズ
第14回	2020	コロナ禍のため中止	
第15回	2021	コロナ禍のため中止	

可児市長杯争奪岐阜親善交流大会

第1回	2022		
-----	------	--	--

1 富山中部ボーイズ

代表	野替 隆博
監督	南 康彦
コーチ	中瀬 拓幸
マネージャー	草野 智也
2	主将 尾山 力斗 3年
1	尾山 慈英人 3年
3	紙谷 蒼司 3年
4	園部 琉斗 3年
5	戸田 耀大 3年
6	草野 大哉 2年
7	村上 琉音 2年
8	川上 琉人 2年
9	稲谷 扇大 2年
10	曾我 政仁 2年
11	滝上 煌紀 2年
12	岩上 壮亮 2年
13	武田 煌生 2年
14	石坂 和享 2年
15	岩井 拓望 2年
16	堀田 泰弥 2年
17	福田 侑志 2年
18	川添 涉 1年
19	金川 太一 1年
20	河井 絢音 1年
21	中瀬 叶大 1年
22	三鍋 清乃 1年
23	小林 誇虎 1年
24	吉崎 遼 1年
25	吉岡 琉生 1年

2 春日井ボーイズ

代表	窪園 三郎
監督	澤野 肇
コーチ	飯島 洋一
マネージャー	松本 良和
2	主将 正山 蓮 3年
1	澤野 天 3年
3	阿部 隼都 3年
4	杉山 陽平 3年
5	小森 颯太 3年
6	田中 玖右翔 3年
7	吉永 京獅朗 3年
8	大角 流雅 3年
9	奥村 健斗 3年
10	清水 聖穂 3年
11	不破 祥偉 3年
16	坂下 壘斗 3年
17	松本 悠希 3年
18	渡邊 陽斗 3年
24	今井 希信 2年
29	佐藤 圭志朗 2年
30	佐藤 睦哲 2年
31	瀬口 恭平 2年
35	塚本 龍海 2年
36	寺澤 輔 2年
38	日比 啓翔 2年
39	武藤 駿輝 2年
40	山口 諒馬 2年
42	山田 琉也 2年
44	渡邊 龍哉 2年

3 岐阜可茂ボーイズ

代表	高木 勇人
監督	土岐 正彦
コーチ	牧野 剛太
マネージャー	斎藤 司
6	主将 兼松 秀真 3年
0	中村 秀悟 3年
1	伊佐治 瑛斗 3年
2	今井 亮輔 2年
3	後藤 巧磨 3年
4	渡邊 俊輔 3年
5	若尾 優 3年
7	吉田 陽登 3年
8	高木 優樹 2年
9	塩原 汰一 3年
10	小林 辰義 2年
11	上田 一颯 2年
12	佐藤 悠馬 2年
15	牧野 泰心 2年
16	梨ヶ瀬 夏斗 2年
18	臼田 煌飛 2年
19	金武 昂明 2年
21	山藤 迅 2年
22	二川 敢太郎 3年
23	大平 竜輝 3年
27	大野 蒼真 3年
37	長谷川 貴太 2年
51	林 大登 3年
55	斎藤 光 3年
77	上田 遥斗 2年

4 愛知名港ボーイズ

代表	友田 淳雄
監督	奥村 尚
コーチ	加賀 悟朗
マネージャー	奥村 治
21	主将 森 都季矢 3年
1	山内 康生 3年
2	野上 士耀 3年
4	八田 柊司 3年
6	前田 蓮 3年
7	宇井 理丸 3年
11	北村 健駆 3年
14	澤田 汰輝 3年
17	長岡 拓海 2年
18	畠下 龍空 3年
24	杉本 龍之介 3年
25	山森 楓雅 3年
31	木村 優太 3年
32	辻丸 佑樹 3年
33	中村 銀仁 3年
34	高橋 龍世 3年
35	小川 隼之介 3年
36	福山 雅斗 3年
44	川尻 結大 3年
51	川島 啓瑚 3年
55	柳本 怜大 3年
56	佐伯 宙星 3年
57	宮田 匠 3年
63	鈴木 大輝 3年
66	野々垣 敦貴 3年

5 西濃ボーイズ

代表	植地 一喜
監督	上田 佳宏
コーチ	山本 孝史
マネージャー	野原 康弘
53	主将 松井 侑海雅 3年
1	今津 翔太 3年
3	泊 永翔 3年
4	加藤 瑠唯 3年
5	山口 瑛太 3年
6	坂 奏汰 3年
7	増田 奏大朗 3年
8	森谷 岳 2年
10	野原 一真 3年
11	林 亮汰 3年
18	下平 遙陽 3年
19	高橋 祐真 3年
22	渡邊 隆咲 3年
25	宮脇 崇輔 2年
27	近澤 快飛 2年
28	中島 慶 2年
30	嶋田 飛龍 2年
33	篠田 羚生 2年
51	若原 涉斗 2年
72	中島 愛來 3年

6 岐阜東ボーイズ

代表	津田 明春
監督	足立 哲也
コーチ	徳永 義弘
マネージャー	萩原 孝一
17	主将 石井 佑弥 3年
3	川瀬 翔 3年
4	宮崎 太佑 3年
6	会津 亮河 2年
8	清水 悠生 2年
9	川島 侑真 2年
10	吉田 優羽 2年
11	横山 健士 3年
12	萩原 京汰 3年
13	松尾 大夢 2年
14	中村 晃輔 2年
19	今井 獅琉 2年
22	渡瀬 友介 2年
25	田中 颯人 3年
31	林 威助 2年
33	奥田 優音 2年
39	原田 朔久斗 3年
47	安藤 文瑠 3年
51	橋口 愛矢 3年
56	國田 詩 2年

7 岡崎葵ボーイズ

代表	川野 重彦
監督	黒柳 忠宏
コーチ	佐伯 昭典
マネージャー	佐々木 英治
4	主将 杉浦 鳳介 3年
1	池田 龍矢 3年
2	道脇 朔太郎 3年
5	西部 航平 2年
6	平山 遼輔 2年
7	石川 慶 2年
11	新美 琥太郎 3年
14	小杉 陽哉 2年
15	田嶋 春紀 3年
16	近藤 立基 2年
17	柴田 悠稀 2年
19	漆畑 陽之介 2年
21	梅村 小太郎 2年
23	石原 朝斗 3年
24	相崎 空 3年
25	東埜 勝悟 3年
29	是永 響牙 3年
31	岸本 頼雅 2年
51	古谷 昌慈 3年
55	林 律良知 3年

8 大垣ボーイズ

代表	宮部 博幸
監督	足立 泰哲
コーチ	近藤 匡克
マネージャー	水谷 友子
19	主将 大橋 悠磨 3年
0	宮部 仁奨 3年
2	藤原 奨真 3年
4	羽田 舜 3年
15	永江 咲大郎 3年
16	萩永 彩斗 3年
18	渡邊 敦央 3年
21	坪 真都 3年
22	水谷 遥希 3年
25	水谷 優太 3年
29	北村 凜太郎 3年
31	多賀 琳太良 3年
32	馬淵 龍牙 3年
33	梅本 大輝 3年
59	竹ノ内 秀真 3年
89	高木 球志 3年

9 愛知知多ボーイズ

代表	濱野 晃一	
監督	尾形 嘉崇	
コーチ	塚 和弘	
マネージャー	小田 竜司	
56	主将 重松 寿翔	3年
0	加藤 功大	3年
1	小田 修帆	3年
2	古屋 幸真	3年
3	都築 琉晟	3年
4	吉田 真裕	3年
5	鈴木 琥輝	3年
7	佐伯 大	3年
8	谷口 裕太郎	3年
10	宮本 祐	3年
11	石橋 理功	3年
17	吉良 天真	3年
18	西川 翔惺	3年
19	大村 健太	3年
23	鈴木 翔也	3年
27	藤田 琉輝	3年
30	下田 健太	3年
31	三浦 颯太	3年
39	山口 哲平	3年
44	間瀬 寛都	3年
51	戸谷 駿利	3年
99	塚本 絆斗	3年

10 岐阜北ボーイズ

代表	南 晃一	
監督	杉山 政治	
コーチ	福田 栄司	
マネージャー	藤井 規晃	
25	主将 吉村 大輝	3年
1	井口 貴仁	3年
2	長屋 秀杜	3年
3	松原 那由他	3年
5	竹下 永遠	3年
6	町野 鷹右	3年
7	坂井 新之介	3年
9	大塚 竜暉	3年
10	藤井 悠生	3年
11	長屋 樹	3年
12	矢嶋 佑樹	3年
15	後藤 優斗	3年
17	川向 改史	3年
24	西尾 隼哉	3年
51	伊佐地 宗磨	3年
55	村瀬 凌大	3年

11 四日市南ボーイズ

代表	石橋 正弘	
監督	後藤 光弘	
コーチ	伊藤 明洋	
マネージャー	小森 由香	
2	主将 小森 主葉	3年
1	中村 迅那	2年
3	石垣 藤慈	2年
4	杉原 琉文	3年
5	貞任 宏槻	2年
6	村田 愛斗	2年
7	伊達 純正	2年
8	和志武 颯一	3年
9	山本 貴太	2年
14	相原 璃空	2年
27	大岡 丈凌	2年
28	山田 康生	3年
29	川南 洸稀	3年
57	和志武 涼一	2年
89	澤田 羽空	2年
99	川村 青空叶	2年

12 名古屋富士ボーイズ

代表	玉置 正樹	
監督	青山 富弘	
コーチ	川上 忠	
マネージャー	清水 健吉	
22	主将 飯島 豪己	3年
1	難波 拓雅	3年
2	小西 悠斗	3年
5	モレチ アレシヤンドレ	3年
6	長谷川 昇大	3年
10	跡見 瑛大	3年
12	関 文蔵	3年
19	竹田 俊介	3年
25	小倉 輝大	3年
26	山本 一輝	3年
30	加藤 暁正	3年
51	清水 隆太	3年

13 東海ボーイズ

代表	山田 康喜	
監督	中野 邦英	
コーチ	山崎 栄治	
マネージャー	岡本 政幸	
2	主将 岡本 力哉	3年
1	川瀬 陽翔	3年
3	浦川 翔夢	2年
5	武田 義弘	3年
6	濱崎 翔太	2年
7	山崎 翔太	3年
8	水野 創太	3年
10	長谷川 彪河	2年
11	淵上 麗音	3年
18	井利元 涼	2年
21	吉川 結斗	2年
22	高橋 侑雅	2年
23	門井 亮馬	2年
27	犬飼 凱也	2年
29	山本 晴太郎	2年
31	浦野 敦也	2年
41	渡辺 一誓	2年
47	石本 侃大	2年
48	杉山 由真	3年
63	濱本 凜太郎	2年
88	大林 青葉	2年
89	柴山 虎太郎	2年

14 飛騨高山ボーイズ

代表	田中 秀治	
監督	黒木 博也	
コーチ	山腰 達也	
マネージャー	三嶋 芳和	
99	主将 元田 莉玖斗	3年
0	新井 和	2年
2	篠田 倅太郎	3年
3	野首 奏介	2年
4	平子 陽一	2年
5	花川 仁飛	2年
7	水口 虎河	2年
9	青木 志葉	2年
11	青山 瑞來	2年
13	上田 真大	2年
18	杉本 世椰	2年
20	三嶋 陽介	3年
22	中田 諒太	3年
23	久保 優真	2年
24	斉藤 成之介	3年
25	福岡 功太郎	3年
26	新井 悠作	2年
34	田島 千照	2年
37	南 健太郎	2年
47	青山 瑞歩	3年
51	帆ノ下 健翔	2年
55	渡辺 京介	2年
77	道下 仁也	2年

15 陶都ボーイズ

代表	杉山 淳	
監督	後藤 清隆	
コーチ	高橋 真悟	
マネージャー	市川 裕康	
1	主将 富田 銀太郎	3年
2	橋本 健造	2年
3	佐橋 瑠希斗	3年
5	中村 葵	2年
6	和田 航希	2年
7	宮嶋 慶汰	2年
8	網本 真中仁	2年
10	古川 大晴	3年
11	市川 裕稀	3年
22	西尾 心太郎	2年
23	大竹 総司	3年
25	坂崎 一太	2年
27	小荷田 匠真	2年
65	武知 然	2年
66	矢ヶ部 光央志	2年
72	後藤 裕斗	2年
80	佐々木 瑠希	2年
88	小嶋 奏翔	3年

16 三好東郷ボーイズ

代表	鳥居 剛	
監督	安達 豪也	
コーチ	伊藤 貴生	
マネージャー	伊東 博	
16	主将 大嶋 元晴	3年
5	辰ノ 碧海	3年
6	村田 涼	3年
8	鈴木 海人	3年
10	永田 翔斗	3年
11	谷川 源之助	3年
12	石川 天流	3年
14	仲野 聖凜	3年
15	金子 瑛士	3年
21	片岡 蒼太	3年
25	篠村 勇輝	3年
33	岩田 朔弥	3年
56	高島 倅	3年
94	斎藤 朋佑	3年

17 岡崎中央ボーイズ

代表	勝田 栄二
監督	川石 隆由
コーチ	中村 貴之
マネージャー	坂下 虎之輔
23	主将 山田 望意 3年
0	大澤 証哉 3年
1	酒井 桂 3年
2	峰澤 琉史 3年
3	倉橋 大翔 3年
4	廣瀬 貴也 3年
5	太田 庄哉 3年
6	八木 七遼 3年
7	後藤 悠斗 3年
8	三宅 壮太 3年
9	川口 竜央 3年
10	平野 将馬 3年
11	山本 大雅 3年
13	岩瀬 龍我 3年
16	代々 響 3年
18	菊地 大心 3年
19	外山 雅和 3年
21	金原 響己 3年
22	野村 拓斗 3年
27	森富 伍真 3年
28	木佐貫 翔人 3年
33	河副 颯大 3年
34	五日市 秀和 3年
51	井之脇 陸斗 3年
99	黒柳 開 3年

18 岐阜青山ボーイズ

代表	足立 修身
監督	加藤 秀貴
コーチ	大塚 泰造
マネージャー	柴山 弘久
6	主将 清水 慎斗 3年
0	田中 夏輝 3年
5	鈴木 陽 3年
7	横山 廉人 3年
15	大西 優駕 3年
28	貝原 大馳 3年
31	和田 悠佑 3年
34	伊藤 琉星 3年
37	伊藤 奨真 3年
38	齋藤 舜 3年
39	江本 旭 3年
41	林 泰成 3年
42	加本 拓斗 3年
46	早川 文都 3年
48	柴山 弘大 3年
66	小野寺 大梧 3年
99	鈴木 唯巴 3年

19 岐阜西ボーイズ

代表	石川 孝信
監督	宮川 勉
コーチ	於保 成明
マネージャー	佐野 敦子
34	主将 北村 拓哉 3年
2	河崎 広貴 3年
8	渡邊 泰成 3年
20	近藤 士恩 3年
23	小林 想 3年
26	森 琴葉 3年
27	粥川 大駕 3年
29	小栗 琉聖 3年
30	宮川 鉄平 3年
33	堀 蒼葉 3年
35	臼井 快 3年
40	末次 翔真 3年
41	関口 文翔 3年
44	中沢 颯 3年
51	佐野 凉平 3年
52	石井 遥斗 3年
56	楨田 悠我 3年
70	多和田 颯也 3年

20 滋賀野洲ボーイズ

代表	後藤 均
監督	原田 政美
コーチ	植中 洋平
マネージャー	今江 利秀
32	主将 坊野 幸樹 3年
14	西澤 尚大 3年
18	古賀 大夢 3年
19	若林 獅童 3年
24	灰谷 叶翔 3年
26	辰巳 煌大 3年
27	大西 陽翔 3年
29	伊東 璃久 3年
30	櫻井 将人 3年
34	磯部 煌太 3年
36	山元 海月 3年
41	奥村 頼人 3年
62	入佐 武士 3年
70	辻 琉沙 3年
77	高田 庵冬 3年
99	中澤 潤 3年

21 岐阜中津ボーイズ

代表	岡本 和男
監督	水野 尊文
コーチ	鈴木 健斗
マネージャー	伊藤 雅子
37	主将 植村 満輝 3年
31	小林 虹輝 3年
33	伊藤 聖 3年
34	三好 悠太 3年
35	渡辺 大維弥 3年
36	西尾 翔太 3年
38	東野 明矢 3年
39	場作 快生 3年
40	片桐 煉 3年
61	古田 遥暉 2年
62	本多 裕貴 2年
63	木村 綜志 2年
64	櫻木 虹太 2年
65	松尾 杜和 2年
66	水野 立登 2年

22 三州ボーイズ

代表	粕谷 浩
監督	竹崎 晴信
コーチ	加藤 友昭
マネージャー	早川 智子
9	主将 浜口 悠帆 3年
0	細川 颯太 3年
1	鈴木 剛 3年
2	岩瀬 優我 3年
3	外山 勇成 3年
4	平岩 光太郎 3年
5	杉澤 虎星 3年
6	西原 大樹 3年
7	近藤 瑠生斗 3年
8	片桐 悠翔 3年
10	別府 凌我 3年
11	土工 陽誠 3年
18	神谷 明翔 3年
19	池田 杏侍 3年
25	馬原 汰征 3年
26	野道 蒼生 3年
43	小倉 司 3年
51	成瀬 太陽 3年
55	宮原 啓斗 3年

23 愛知木曾川ボーイズ

代表	大迫 英紀
監督	鈴木 俊雄
コーチ	森 裕幸
マネージャー	青木 新介
22	主将 鈴木 悠友 3年
1	阿部 昇英 3年
3	野田 侑伸 3年
6	見崎 盛真 3年
8	堀田 怜央 3年
19	田岡 大翔 3年
28	岡田 奏馬 3年
39	櫻井 翔梧 3年
41	杉本 翔栄 3年
51	林 勇太 3年
59	三橋 柗三郎 3年
77	岩田 大輝 3年

24 下呂ボーイズ

代表	奥田 浩二
監督	田口 泰久
コーチ	丹羽 幸司
マネージャー	上林 義明
2	主将 安藤 旬平 3年
0	田口 恋 3年
5	丹羽 絢也 2年
6	東 虎太郎 3年
8	坂本 大翔 2年
9	小林 櫻大 2年
11	今井 絢心 2年
13	下田 一心 2年
16	松尾 大翔 3年
19	岩井 駿弥 3年
21	二村 虎次郎 1年
22	小池 玲旺 3年
23	中島 琉晴 3年
24	三川 知紘 3年
31	下町 飛雅 2年
34	尾崎 楓河 1年
39	齋藤 雄大 3年
41	上野 純平 2年
47	北谷 頼喜 3年
55	大江 奏富 2年
62	牧本 大誠 2年
92	國政 流至 3年
95	上林 拳志朗 3年

25 愛知安城ボーイズ

代表	西脇 利幸
監督	西脇 侑吾
コーチ	西川 正晃
マネージャー	橋本 匡史
6	主将 中山 達椰 3年
2	外山 成竜 3年
4	石川 稜馬 3年
7	千葉 心楽 3年
8	小野里 葵 2年
10	鈴木 夢人 3年
12	由良 蒼葉 2年
15	石川 凜明 2年
18	鈴木 煌人 3年
20	手島 大翔 2年
22	土谷 琉斗 3年
23	中井 惺乎 3年
24	出口 達也 3年
29	出口 智也 2年
32	三丸 慶太郎 3年
33	椎野 弘基 3年
46	鍋内 比呂 3年
51	竹田 新 2年

26 岐阜笠松ボーイズ

代表	大野 秀一
監督	杉本 隆人
コーチ	梶田 達也
マネージャー	大野 一洋
51	主将 奥村 心 3年
0	柴田 陽太 3年
1	前田 紘亜 2年
2	吉野 拓海 2年
3	平田 結聖 2年
4	下田 湧介 3年
5	中村 京 3年
7	大澤 和也 2年
8	谷之口 翔琉 2年
10	楠本 蓮 2年
11	田上 桃之介 3年
12	根間 智也 3年
13	宮ノ腰 和希 3年
16	次井 拓登 3年
19	松尾 謙吾 3年
20	谷之口 雄勢 3年
21	高桑 周雅 2年
36	清水 友翔 3年
41	小野木 奏太 2年
42	土屋 兜羽 2年
57	鈴木 創葉 2年
58	座間 律旗 3年
82	宮川 絢斗 3年
89	小倉 空翔 2年
99	手登根 大翔 3年

27 岐阜東濃ボーイズ

代表	葛西 勉
監督	山川 裕司
コーチ	山田 和義
マネージャー	加納 美穂
8	主将 日比野 脩平 3年
1	堀 倭人 3年
2	野原 一馬 2年
3	加納 真樹 3年
4	水野 舞人 3年
5	丹羽 連志朗 3年
7	黒澤 唯人 3年
9	曾我 泰聖 3年
10	山田 恒誓 3年
11	成木 脩 3年
12	柴山 凜 3年
13	齊木 柔牙 3年
14	福井 剛志 3年
15	山田 凌大 3年
16	岩井 柊希 3年
17	市岡 歩 3年

28 名古屋ボーイズ

代表	田中 秀明
監督	水谷 孝
コーチ	中村 大助
マネージャー	杉野 保憲
0	主将 杉野 琥太郎 3年
1	平山 大勢 3年
3	富田 将太 2年
5	青山 侑生 3年
8	廣瀬 煌大 3年
9	加藤 聖士 3年
10	加藤 勝喜 3年
11	茅野 蒼汰 2年
12	大西 望翔 2年
15	吉田 優翔 3年
17	福中 葉月 3年
19	伊藤 承太郎 2年
20	留場 琉生 2年
21	青沼 滉大 3年
25	三谷 悠真 3年
26	工藤 夢生 2年
27	後藤 浩介 2年
31	竹内 偉風 2年
33	伊藤 誠太 2年
41	辻 匡仁 2年
52	國井 彬義 2年
55	伊藤 滉 2年
56	二村 輝太郎 3年
88	渡邊 優太 3年
99	飯田 琉聖 3年

29 揖斐本巢ボーイズ

代表	国枝 義孝
監督	岡本 吉守
コーチ	南 昭裕
マネージャー	杉山 広司
6	主将 中西 匠見 3年
0	吉村 旺大 3年
9	池戸 風斗 3年
10	栄徳 良太 3年
13	河村 一牙 3年
14	杉山 陸斗 3年
15	杉江 菜飛 3年
19	小林 京矢 3年
24	小西 乃斗 3年
25	菊本 宙 3年
27	野村 瞭太 3年
36	林 篤希 3年
37	駒月 翔真 3年
39	鷺見 太一 3年
41	成瀬 聖斗 3年
52	高宮 大智 3年
53	亀山 貫汰 3年
55	野村 健人 3年
74	武藤 拓海 3年

30 京都嵐山ボーイズ

代表	西藤 真琴
監督	森井 洋一
コーチ	橋本 徹也
マネージャー	田中 幹也
1	主将 山本 陽斗 3年
2	西村 虹央太 3年
3	長谷川 也琉音 3年
4	東 慶人 3年
5	伊藤 滉人 3年
6	前田 壘翔 3年
7	北原 義隆 3年
8	衣笠 志道 3年
9	中辻 秀太 3年
10	宮崎 弘瑛 3年
11	中谷 匠生 3年
12	改田 來羽 3年
13	花田 達乃助 3年
14	下西 政道 3年
15	山崎 廉 3年
16	大谷 悠真 3年
17	福井 一心 3年
18	宮川 昂大 3年
19	納富 賢央 3年
20	平井 悠太 3年
21	桐村 悠哉 3年
22	畠山 凌一 3年
23	小山 剛志 3年
24	浜村 直 3年
25	清水 淳之介 3年

31 岐阜中央ボーイズ

代表	川島 浩
監督	吉口 晶
コーチ	牧野 佳彦
マネージャー	南谷 金伯
55	主将 吉田 恒斗 3年
0	酒井 隆光 3年
3	清水 滉基 3年
4	神山 堪輔 3年
5	野田 慎之助 3年
6	古野 絢哉 3年
8	小栗 矢寛 3年
9	川合 琥徹 3年
12	加藤 里玖斗 3年
14	古田 蓮翔 3年
16	奥村 太翔 3年
17	市川 昇汰 3年
18	廣瀬 一真 3年
21	増田 倫子 3年
22	佐々木 彩介 3年
23	日下部 悠馬 3年
24	西尾 公太 3年
27	北後 睦己 3年
28	高柳 太一 3年
33	牧野 晏士 3年
39	駒瀬 陽尊 3年
44	福井 勇翔 3年
53	南谷 宗佑 3年

32 津ボーイズ

代表	西村 文雄
監督	松本 直也
コーチ	別所 則幸
マネージャー	南 貴史
15	主将 折戸 仁毅 3年
5	山川 璃音 3年
7	南 陽太 3年
8	河口 将太 3年
9	明坂 凜久 3年
10	河内 湊 3年
17	大堀 颯真 3年
20	田中 垂主斗 3年
23	長澤 宗一郎 3年
25	河上 楓峨 3年
26	細野 夢翔 3年
29	中川 蒼大 3年
31	田邊 佑真 3年
40	小田 健心 3年
55	栗田 耀 3年

33 桑員ボーイズ

代表	新井 勝彦	
監督	鵜飼 繁昌	
コーチ	井戸田 勉	
マネージャー	蛭川 一	
10	主将 西畑 幸大	3年
0	結城 和志	3年
1	小森 星翔	3年
2	望月 順太	3年
4	西川 英汰	3年
5	持館 太志	3年
6	早川 蓮太郎	3年
7	安藤 悠惺	3年
8	安藤 悠希	3年
9	鈴木 諒允	3年
11	加藤 誠也	3年
12	関山 凌駟	3年
13	梶谷 大也	3年
16	伊藤 涼之介	3年
17	三浦 直人	3年
18	伊藤 陽道	3年
21	小谷 爽斗	3年
22	森脇 大地	3年
24	小田 悠太郎	3年
27	吉田 龍之介	3年

34 愛知港ボーイズ

代表	小河 徳和	
監督	堀田 将司	
コーチ	大須賀 辰郎	
マネージャー	糸井川 誠	
26	主将 金本 誠史	3年
0	清水 彪雅	3年
1	山本 夢大	3年
5	関之尾 悠太	2年
8	栗脇 鳳透	2年
9	岡田 煌生	2年
11	大須賀 琉季	2年
14	山賀 祐樹	3年
15	水野 歆汰	3年
16	西岡 依丸	3年
18	伊藤 璃空	3年
19	平田 庸之助	3年
21	中井 柊温	3年
23	早川 諒	3年
24	池田 堂来	3年
25	平田 琉太郎	3年
27	谷口 大和	3年
28	武智 遥士	3年
29	朝夷名 敏	3年
31	佐藤 響	3年
47	糸井川 佳大	2年
56	早坂 玲音	3年
63	小椋 秀惺	3年

35 岐阜中濃ボーイズ

代表	河村 代之	
監督	蛭川 由規	
コーチ	荒木 道	
マネージャー	野田 寛	
10	主将 川本 喜一	3年
1	小西 勇颯	3年
2	大野 蒼波	3年
5	古田 光佑	3年
6	山本 泰平	3年
7	井戸 皓心	3年
8	野田 萩士朗	3年
9	酒井 達也	3年
11	中林 楓	3年
17	小澤 琉次	3年
18	佐橋 勇飛	3年
22	小鎗 稜也	3年
26	山田 晟雅	3年
31	太田 武秀	3年
51	今井 悠斗	3年

36 岐阜羽島ボーイズ

代表	若狭 洋玄	
監督	岸 茂久	
コーチ	田谷 幸治	
マネージャー	加藤 彩治	
17	主将 後藤 立樹	3年
0	山田 陸叶	3年
1	井上 裕生	3年
2	牛田 大夢	3年
3	松岡 歩夢	3年
4	神田 楓河	3年
5	野原 太陽	3年
6	山田 一志	3年
7	菱田 壮環	3年
8	野村 悠晴	3年
9	浅井 楓良	2年
11	上川 颯志	3年
12	松山 明樹	3年
14	笹野 琉生	3年
15	古川 遼真	2年
16	加藤 光晴	3年
18	西脇 友誠	2年
19	石ヶ崎 来玖	2年
24	金森 康汰	3年
27	島 隆真	2年
34	服部 樹	2年
51	墨 建太郎	3年
66	伊藤 貴仁	2年
77	山崎 大雅	3年
86	木村 凌	2年

37 東尾張ボーイズ

代表	前島 康典	
監督	柴田 秀仁	
コーチ	斉藤 真一	
マネージャー	山中 章	
55	主将 斉藤 蓮	3年
44	平内 琉登	3年
45	山中 拓巳	3年
46	生田 悠人	2年
47	足立 海来	3年
48	山根 大翔	3年
49	熊谷 憲祐	3年
51	岡島 輝粋舞	3年
52	山中 海惺	3年
53	毛利 昂暉	3年
56	角村 幸樹	3年
57	松屋 飛龍	3年
58	勝濱 昊之輔	3年
59	丹下 双雲	3年
61	小田 慎二郎	3年
62	千賀 啓由	3年
63	長谷川 希樹	3年
64	水野 拓海	3年
65	平川 稜崇	3年
66	鎌田 諒飛	3年
67	長尾 春樹	3年
68	野田 尚希	3年
69	栗本 銀次郎	3年
70	石原 詩大	3年

38 東名古屋ボーイズ

代表	千田 知弘	
監督	伊藤 泰憲	
コーチ	中島 聖	
マネージャー	濱崎 美嘉	
0	主将 竹内 雄惺	3年
1	櫻井 祐人	2年
2	櫻井 太智	2年
3	小林 暖舞	2年
5	立田 熙直	2年
6	鈴木 崇史	2年
7	松永 透和	3年
8	丸山 陽平	2年
9	久野 直翔	2年
16	三浦 琥珀	2年
17	栗田 翔空	2年
18	櫻井 航介	2年
19	磯村 怜穂	2年
20	西田 勝	2年
21	松尾 碧馬	2年
22	小山 陽平	2年
23	永田 優	2年
25	神藤 翔瑛	2年
29	大島 歩真	2年
31	管谷 匠悟	2年
55	中西 望遥	3年
58	大内 洸弥	2年
77	池端 真叶	2年

39 岐阜ポーズ

代表	大橋 和博	
監督	柴田 剛	
コーチ	前野 大祐	
マネージャー	鈴木 美佐	
10	主将 鈴木 聖也	3年
2	内海 幸大	3年
3	尾崎 虹河	3年
4	廣瀬 光雅	3年
5	遠藤 壮馬	3年
6	竹中 悠真	3年
7	伊藤 拓海	3年
8	佐藤 航大	3年
9	高田 凱聖	3年
11	若園 聖也	3年
12	遠藤 新太	3年
13	高橋 洸生	3年
14	大久保 快飛	3年
15	後藤 優介	3年
16	伊藤 峻杜	3年
17	杉浦 健十	3年

40 関ボーイズ

代表	小澤 淳二	
監督	瀧野 芳伸	
コーチ	花室 典幸	
マネージャー	渡辺 桂樹	
2	主将 伊佐治 大堂	3年
1	長江 航佑	3年
4	渡辺 悠吾	3年
11	杉山 颯亮	3年
13	武藤 幹	3年
16	川尻 秀汰	3年
18	西浦 章貴	3年
19	西村 太一	3年
20	勝野 修令	3年
24	林 煌大	3年
27	内田 凱士	3年
28	津谷 楓希	3年
34	渋谷 諒介	3年
36	田畑 亮樹	3年
39	林 朔矢	3年
47	市川 陽都	3年
52	森田 海月	3年
56	渡邊 慶豊	3年
61	伊藤 哲平	3年
63	千賀 維斗	3年

41 豊川中央ボーイズ

代表	宮道 定典
監督	澤 昌幸
コーチ	谷口 誠一
マネージャー	田口不二八
8	主将 木下 立晴 3年
2	酒井 優成 3年
4	谷口 理一 3年
7	穴見 凌翔 3年
12	小原 圭太郎 3年
21	筒井 達也 3年
26	夏目 将吾 3年
27	勝見 慎太郎 3年
31	増田 壮真 3年
32	近藤 佑樹 3年
35	長谷川 瑠 3年
41	藤井 駿太 3年
66	嶺 治輝 3年
67	水野 是周 3年

42 中京ボーイズ

代表	野田 晃一
監督	福長 博幸
コーチ	大矢 康弘
マネージャー	古川 秀和
12	主将 星野 匡慶 3年
1	富田 悠月 3年
3	古川 快人 3年
6	平原 矢真人 3年
13	池田 怜央 3年
14	山田 雄治郎 3年
16	川口 賢人 3年
17	伊藤 智弘 3年
19	伊藤 一樹 3年
21	中山 陽太夏 2年
23	山本 翔太 3年
25	村田 滯始 3年
27	野田 凜 3年
30	加藤 竜稀 3年
37	不破 久凱 3年
54	桂 晃紫 2年
86	中西 晴琉 3年
87	中村 楓花 3年

43 岐阜南ボーイズ

代表	青木 幹樹
監督	吉川 好
コーチ	守屋 毅
マネージャー	田村 浩幸
14	主将 原 蒼太 3年
8	片野 瑛敬 3年
10	安田 新史 3年
12	渡邊 拓斗 3年
13	黒川 将治 3年
18	早川 輝 3年
22	田村 羽瑠斗 3年
32	森川 史哉 3年
33	竹久 裕翔 3年
42	廣瀬 遥樹 3年
43	廣瀬 樹喜 3年
51	名和 琉乃 3年
55	河崎 翔也 3年
61	森田 鳳介 3年
86	西井 悠 3年
88	無藤 羅生 3年

記録表

【 × 】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計

投手[] 捕手[]

本塁打： 三塁打：

二塁打：

【 × 】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計

投手[] 捕手[]

本塁打： 三塁打：

二塁打：

【 × 】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計

投手[] 捕手[]

本塁打： 三塁打：

二塁打：

【 × 】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計

投手[] 捕手[]

本塁打： 三塁打：

二塁打：

【 × 】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計

投手[] 捕手[]

本塁打： 三塁打：

二塁打：

大会出場記念、応援グッズ、卒業・卒団記念etc.

1個から作ります!

チーム オリジナルグッズ

Original Goods

写真撮影からグッズのデザインまで
P&P浜松にお任せください!

＝ スマホから簡単入力♪ ＝

チャットでお気軽にお問い合わせください。

こちらのマークが目印です ▶▶

※ショップ画面右下にあります。



オペレーターマーク

冷感マフラータオル
¥1,400～¥2,500
《まとめて割引対象》

テンプレートTシャツ
¥3,400～¥4,000
《まとめて割引対象》

株式会社P&P浜松 オンラインショップ

<https://www.pandp-h.shop/>



応援のぼり



推しメンTシャツ



ユニフォーム くまさん
Uniform KUMASAN



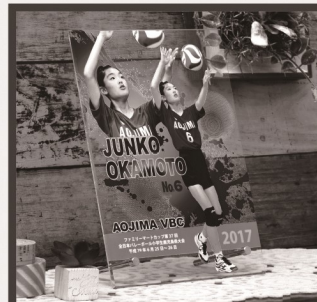
オリジナルマスク



応援ツインメガホン



ユニフォームプレート



アクリルプレート



卒業・卒団パネル

一瞬の出来事を永遠の思い出に

株式会社P&P浜松
PROFESSIONAL & PROMOTER

<http://www.pandp-h.com>

〒435-0038 静岡県浜松市南区三和町 252-2
Tel: 053-464-5110 Fax: 053-463-0201

Follow us ▶▶ pp.hamamatsu p_and_p_h

おかげさまで創業70周年

～ 相談のできる店 ～

「信頼」と「安心」のプロショップ

スポーツプラザ

ヒビノ



充実の品揃え



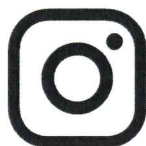
可児市広見5丁目99番地
TEL (0574) 62-0229 (代)
FAX (0574) 62-3495
<http://www.hibino-sp.co.jp/>

創業55年以上 野球に詳しくなれて上達するお店!

信頼の
野球専門店



岐阜市玉宮町2-9
TEL (058)264-2200
FAX (058)264-2288



follow me!!

ZETT



NEOSTATUS

特化せよ、自分の武器に。



zett-baseball.jp



REACH BEYOND

掴むのは、信頼だ。

バッテリーを、ナインを、一つにするミット誕生。

SAKEBI

号

HP

YouTube





BOYS LEAGUE

公益財団法人 日本少年野球連盟

岐阜県支部